



松南定時・進路通信【5月号】

R1.5.30

4月号の進路通信で、「令和」には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められている。」と紹介したところですが、今日までの皆さんの新学年・新クラスでの生活はいかがでしたか。自分を大切にしながら、相手を大切にすることが送れたでしょうか。

さて、進路についてはまだまだこれから「ジックリ」と考えて決定しようと考えている人がほとんどだと思いますが、少しでも優秀な学生を確保しようという視点から、目下、進学・就職に関連して、外部の担当者の方が本校を訪問し、情報誌等を提供していただいています。職員室前の廊下に掲示するようにはしていますが、全て掲示するスペースはありません。進路室にも保管していますので、自由に見てください。3年次生にとっては、進学・就職への準備に早過ぎるということはありませんので、進路に関する疑問点をすぐに担任や進路課に相談してください。また、生徒の皆さんには、担任の先生を通じてオープンキャンパスの案内をしております。興味・関心のある学校については、参加して自分の目で授業の様子や施設等を見学してきてほしいと思います。

1 本県高校生の就職事情

| 卒業年度 | H27年度卒 | H28年度卒 | H29年度卒 | H30年度卒 |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| 就職決定率 | 98.0 | 99.2 | 99.4 | 99.8 |

(ハローワーク松山の資料を基に作成)

近年の景気の安定に支えられ、就職決定率は高水準を維持しています。この傾向は今年度も続くと予想され、就職希望者にとっては多くの求人を吟味し、納得できる就職を実現させる可能性が大きいと考えられます。そこで大切なことは、早期に自分が希望する職種を決定し、早めに企業リサーチを行い、就職試験の開始日に向けて備えをしておくことです。面接においては人物が大きく評価されます。その場しのぎとならないように、普段から自己を向上させるための努力をしてください。普段から言葉遣いや挨拶、振る舞いなどに気を配り、T・P・Oを念頭に置いた行動を心がけてほしいものです。3年次生には7月1日から随時、求人状況を提供します。また、昨年度どのような求人があったのかを知りたい人は、進路課教員に問い合わせてください。

2 卒業生を囲んでの座談会

5月23日、卒業生を囲んでの座談会を実施しました。今回は、進学した先輩3名、就職した先輩2名を迎えての実施となりました。遠方から駆けつけてくれた先輩もいます。先輩方の、「少しでも後輩の力になりたい。」との思いに感謝しながら、後輩の皆さんもいろいろなことに挑戦しましょう。定時制だからこそできることが実はたくさんあるはずです。



座談会出席卒業生 (H30年度卒)

- 朝倉 優香さん (高知工科大学)
- 飯尾 良恵さん (愛媛大学)
- 澤田 結花さん (聖カタリナ大学)
- 谷田 海斗さん (道後プリンスホテル株式会社)
- 細井 春花さん (株式会社全日警)



3 将来に向けて今から皆さんに、気をつけてほしいこと。

就職や進学の際には調査書が必要になります。調査書では、皆さんの学業成績を含め、次のような項目について記載が求められています。これからの学校生活を送る上で、自己の学習や行動を振り返り、今後活かすための参考になればと思います。

記載事項の概要

- ①在学中の学習成績
- ②欠席日数と理由
- ③特別活動の記録
- ④学習面での成果や取り組み
- ⑤行動・活動(諸活動への取り組み)の成果
- ⑥部活動、ボランティア活動、取得資格、検定等
- ⑦総合的な学習の時間での学習内容と成果
- ⑧志願者の長所、能力、人柄など。

進学の場合、特に推薦を希望する場合は、学習成績が大切になります。希望先の大学等が指定する成績基準に満たない場合は、推薦を受けることができなくなります。また、就職希望の場合は、学習成績はもちろんのこと、何より協調性や積極性が大切になってきます。様々な行事に積極的に参加し、コミュニケーション能力を高めておくことが何より大切です。

進学・就職を問わず、普段の学校生活での努力の積み重ねが、将来の進路実現にも影響を与えます。しっかりと自己管理を行い、目標をもって学校生活に臨みましょう。

